



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月2日

上場取引所 東

上場会社名 レック株式会社

コード番号 7874 URL <http://www.lecinc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 青木 光男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 増田 英生

TEL 03-5847-0600

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	16,890	5.8	1,679	44.1	1,815	45.2	977	42.8
22年3月期第3四半期	15,963	7.9	1,165	107.1	1,249	67.4	684	100.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	132.98	—
22年3月期第3四半期	94.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	24,808	18,619	75.1	2,533.11
22年3月期	23,428	18,116	77.3	2,464.65

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 18,619百万円 22年3月期 18,116百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
23年3月期	—	20.00	—		
23年3月期 (予想)				20.00	40.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,100	12.1	1,900	73.1	2,000	62.5	1,000	24.4	136.04

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 _____）、除外 一社（社名 _____）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	7,391,335株	22年3月期	7,391,335株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	40,734株	22年3月期	40,686株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	7,350,615株	22年3月期3Q	7,238,520株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第3四半期連結累計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国の景気回復あるいは内需振興策等を背景に企業業績が改善傾向にあることから、景気に持ち直しの動きが見られましたが、依然として失業率が高水準であること、為替が引き続き円高基調であること等、先行き不透明な状況で推移しております。

当グループの属する日用雑貨衣料品業界におきましては、個人消費は一部持ち直しの動きがありましたが、節約志向や価格訴求によるデフレ状況が続いており、経営環境は非常に厳しいものとなっております。

このような環境の中、当グループにおいては、メインブランドである【激落ち】シリーズを中心にテレビCM等による積極的な広告宣伝活動を行うとともに、紙関係の消耗品をはじめとして新製品の開発に努め、業容の拡大を図ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は168億90百万円(前年同期比5.8%増)となり、為替が円高で推移したこと及び四国工場の稼働率が向上したこと等により営業利益は16億79百万円(前年同期比44.1%増)、経常利益は18億15百万円(前年同期比45.2%増)、四半期純利益は9億77百万円(前年同期比42.8%増)となりました。

なお、事業の品目別の売上高の状況は、次のとおりであります。

品目の名称	前第3四半期連結累計期間 (百万円)	当第3四半期連結累計期間 (百万円)	前年同期比(%)
収納・インテリア用品	2,537	2,535	△0.1
サニタリー用品	3,274	3,542	+8.2
洗濯用品	1,801	1,881	+4.4
清掃用品	1,986	2,199	+10.7
キッチン用品	2,356	2,205	△6.4
ベビー・キッズ用品	1,078	1,341	+24.4
その他	2,928	3,184	+8.7
合計	15,963	16,890	+5.8

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ13億80百万円増加し、248億8百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ14億87百万円増加し、161億59百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加13億6百万円及び、商品及び製品の増加1億87百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億6百万円減少し、86億49百万円となりました。主な増加は、新工場建設に係る建設仮勘定の増加に伴う有形固定資産の増加4億86百万円であり、主な減少は、投資有価証券の減少による投資その他の資産の減少4億51百万円及びのれんの償却等による無形固定資産の減少1億42百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ8億77百万円増加し、61億88百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ8億16百万円増加し、35億2百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加5億円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ60百万円増加し、26億86百万円となりました。主な増加は、長期借入金の増加2億57百万円であり、主な減少は、社債の減少2億26百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ5億3百万円増加し、186億19百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加6億83百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億9百万円増加し、41億22百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は4億52百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益18億8百万円、減価償却費5億13百万円等による増加と、売上債権の増加額13億9百万円、法人税等の支払額8億42百万円等による減少であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は6億32百万円となりました。これは主に、有価証券の売却及び償還による収入8億円等による増加と、有形固定資産の取得による支出10億24百万円、有価証券の取得による支出5億円等による減少であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により増加した資金は3億10百万円となりました。これは主に、短期借入金の純増額5億円、長期借入れによる収入3億円による増加と、配当金の支払額2億63百万円、社債の償還による支出2億26百万円等による減少であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)の連結業績予想につきましては、平成22年10月28日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益はそれぞれ2百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は22百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は、36百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,414	4,305
受取手形及び売掛金	6,578	5,271
有価証券	500	500
商品及び製品	2,976	2,788
仕掛品	112	125
原材料及び貯蔵品	587	603
その他	994	1,095
貸倒引当金	△3	△17
流動資産合計	16,159	14,672
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,169	2,248
その他（純額）	3,442	2,876
有形固定資産合計	5,612	5,125
無形固定資産		
のれん	333	451
その他	177	201
無形固定資産合計	510	652
投資その他の資産		
投資有価証券	1,841	2,284
その他	720	728
貸倒引当金	△35	△35
投資その他の資産合計	2,526	2,977
固定資産合計	8,649	8,756
資産合計	24,808	23,428

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	670	611
短期借入金	582	82
未払法人税等	442	520
賞与引当金	128	259
その他	1,678	1,211
流動負債合計	3,502	2,685
固定負債		
社債	1,390	1,616
長期借入金	257	—
退職給付引当金	368	340
役員退職慰労引当金	291	267
負ののれん	325	390
資産除去債務	40	—
その他	13	11
固定負債合計	2,686	2,625
負債合計	6,188	5,311
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,403	4,403
資本剰余金	6,021	6,021
利益剰余金	8,662	7,979
自己株式	△226	△226
株主資本合計	18,861	18,177
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△32	26
繰延ヘッジ損益	△12	—
為替換算調整勘定	△196	△87
評価・換算差額等合計	△241	△60
純資産合計	18,619	18,116
負債純資産合計	24,808	23,428

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	15,963	16,890
売上原価	10,483	10,065
売上総利益	5,480	6,824
販売費及び一般管理費	4,315	5,144
営業利益	1,165	1,679
営業外収益		
受取利息	12	10
受取配当金	20	23
負ののれん償却額	21	65
為替差益	41	2
助成金収入	17	17
その他	13	40
営業外収益合計	126	159
営業外費用		
支払利息	13	16
社債発行費	24	—
支払保証料	—	6
その他	4	1
営業外費用合計	42	23
経常利益	1,249	1,815
特別利益		
固定資産売却益	1	—
投資有価証券売却益	—	18
貸倒引当金戻入額	1	13
保険解約返戻金	13	—
特別利益合計	15	31
特別損失		
固定資産除却損	13	1
投資有価証券売却損	—	5
投資有価証券評価損	0	4
会員権評価損	—	6
貸倒引当金繰入額	0	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	20
特別損失合計	13	38
税金等調整前四半期純利益	1,251	1,808
法人税、住民税及び事業税	591	801
法人税等調整額	△42	29
法人税等合計	548	830
少数株主利益	18	—
四半期純利益	684	977

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,251	1,808
減価償却費	564	513
のれん償却額	117	117
負ののれん償却額	△21	△65
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△12	△13
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△69	△131
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	27	27
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△22	23
受取利息及び受取配当金	△32	△33
支払利息	13	16
社債発行費	24	—
為替差損益 (△は益)	2	4
売上債権の増減額 (△は増加)	△918	△1,309
たな卸資産の増減額 (△は増加)	126	△165
未収消費税等の増減額 (△は増加)	35	△33
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	9	△75
仕入債務の増減額 (△は減少)	68	60
未払消費税等の増減額 (△は減少)	92	△18
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	56	364
その他	△43	181
小計	1,271	1,273
利息及び配当金の受取額	26	33
利息の支払額	△6	△11
法人税等の支払額	△500	△842
その他	14	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	804	452
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△227	△227
定期預金の払戻による収入	227	227
有価証券の取得による支出	△500	△500
有価証券の売却及び償還による収入	500	800
有形固定資産の取得による支出	△590	△1,024
無形固定資産の取得による支出	△31	△12
投資有価証券の取得による支出	△556	△22
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	142
子会社株式の取得による支出	△88	—
その他	△5	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,272	△632

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	682	1,300
短期借入金の返済による支出	△626	△800
長期借入れによる収入	—	300
長期借入金の返済による支出	△43	—
社債の発行による収入	1,675	—
社債の償還による支出	△106	△226
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△386	△263
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,195	310
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12	△21
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	714	109
現金及び現金同等物の期首残高	2,932	4,013
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,647	4,122

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。